

資産コンサルにセカンドオピニオンを 自らの相続とM&Aの経験を生かし 先を見据えた複合的資産コンサルティンクを提供

ジェイエスケー代表社員の上能喜久治氏は、大学の畜産学科を卒業後、農場経営や民間企業の経理部門勤務を経て、30代後半で会計事務所を設立。自らが関わった相続やM&Aの経験に基づき、相続や事業承継対策には定評がある。

畜産学科卒で農場を経営 オーナーの悩みを肌で理解

1988年7月、上能喜久治氏は、37歳で上能総合会計事務所を設立した。大学の畜産学科を卒業後、20代前半で農場経営を手がけ、その後、民間企業の経理部門勤務中に、税理士資格を取得したという異色の経歴を持つ。上能氏は、同事務所を設立するまで、会計事務所に勤務した経験はない。



税理士法人 ジェイエスケー
代表社員
上能喜久治 税理士

じょうの きくはる / 1950年大阪府生まれ。農場経営を志し、日本大学農獣医学部畜産学科(現：生物資源科学部動物資源科学科)へ。事務機器販売会社の経理部に在籍中に税理士資格取得。88年上能総合会計事務所設立。2003年税理士法人ジェイエスケーを設立し現職

先を見据えた偏りない 複合的かつ緻密な提案

例えば、不動産の活用などで相続税対策を効率的に行っているように見えても、名義の分散や管理、また、家賃収入にかかる所得税対策などをいまいがしるようになると、トータルで見ると、多くして実少ないという結果にもなりかねない。

そういった非効率を避けるため、同法人では各種保険や公正証書遺言なども利用。個人の相続や法人の事業承継向けに、納税対策や「争族」対策に至るまでのアドバイスを緻密に行っている(左ページ参照)。

個人向けには、不動産を法人名義にして所有する「所得と名

義の分散」と、相続税納税時に備えた「保険の活用」また「争族」防止のための公正証書遺言の活用」などを提唱。

また、法人向けには、安定した事業承継支援のほかに、適格合併やM&Aの相談にも応じている。さらに、まだ活用例は少ないが、事業承継時における企業資産の分散を避けるために制定された「経営承継円滑化法」の活用なども視野に入れているという。

このような複合的なコンサルティンクをスムーズに行うため、上能氏および、他のスタッフの多くも宅地建物取引主任者の資格を有している。

「不動産に関する知識や売買仲介等の経験は、資産の有効活用や相続対策に欠かせません。そのため、宅建資格を取得したスタッフにはインセンティブを設

けて取得を後押ししています」(上能氏)

顧客の多様なニーズに応えるとともに、提供する会計サービスの品質の向上に取り組んでいるのだ。

自ら親族の相続を経験 自社で調剤薬局をM&A

上能氏が開業した88年7月は、日本で初めて消費税が導入されるまでちょうど1年を切った時期。同氏はこれを追い風と考え、他の会計事務所ではまだあまり扱いのなかったこの分野を、開業間もない自社の売りにしようと考えた。

同氏は消費税セミナーを積極的に開催し、知識や人脈を拡大。その結果、同社は89年4月の消費税導入を契機に着実に売り上げを伸ばしていった。そしてほどこなく、相続や贈与、事業承継などの資産にまつわるコンサルティンク、さらにはM&Aや医療法人の設立支援といった分野に積極的に進出し、社業を拡大する。

その伸長の背景には、上能氏自身が相続やM&Aに携わった経験があったという。「資産家だった叔母の不動産を、私を含む3人の相続人で連帯保

証して不動産を購入しました。

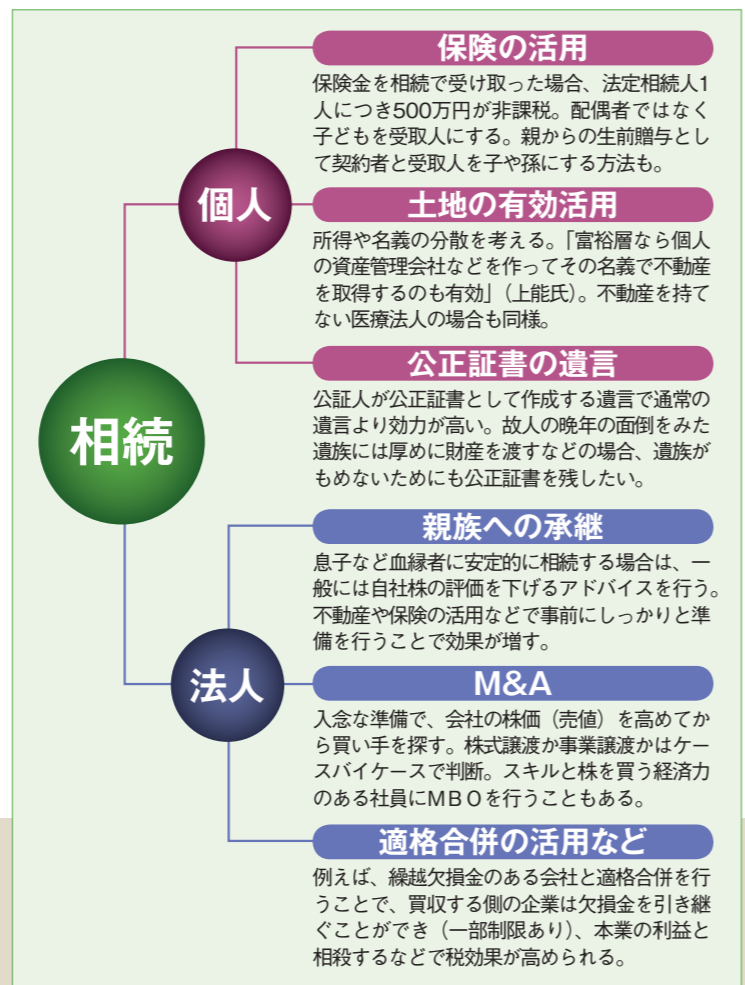
「小規模宅地等の特例」などを活用した結果、6000万円程度課税されたかもしれないが、相続税をゼロに抑えることができたのです」(上能氏)

また、事業承継に悩んでいた顧客企業から、経営する調剤薬局を関連会社で買い受けるM&Aも実施した。現在、その調剤薬局は大阪と和歌山で計9店舗にまで増えている。

このように調剤薬局を自ら運営する実績は、現在、調剤薬局はもちろん、医師の開業支援などのコンサルティンクにもノウハウとして生かされている。

資産コンサルに必要な セカンドオピニオン

このような長年にわたる資産コンサルティンクの経験に基づき、上能氏は顧客企業のほかにも経営者が参加できるJSKサロンセミナーを実施している。テーマは節税のための法人活用、所得税や贈与税の節税方法など多岐にわたる。セミナー終了後の上能氏を交えた懇親会は、活発な意見が交わされる場として好評だ。そして、こうした活動の中で日々思いついたアイデアなどを集めた情報誌や書



籍の発行なども意欲的にこなす。

そんな上能氏の問題意識にあるのは、「資産コンサルティンクにはセカンドオピニオンが必要」ということだ。

同氏いわく、医療は内科や外科のように専門化・細分化がなされている。ところが税務や会計、特に相続や贈与、事業承継、M&Aといった資産コンサルティンクの分野は時代が変わっても、依然大括りのままだという。「相続や事業承継は、一生に一度、もしくは数回遭遇するかと

うかのこと。医療分野におけるセカンドオピニオンのように、さまざまな意見を聞いた上で対策を練る土壌が必要なのです」(上能氏)

高齢化が進む昨今、父親が亡くなって相続を経験した後、母親も亡くなった時に再び経験する二次相続の相談件数も増えているという。同法人は、自らの経験に根差した資産コンサルティンクの実績をもって、時代に即した新しいサービス開拓へのチャレンジを続ける。

税理士法人 ジェイエスケー

〒530-0047

大阪府大阪市北区西天満3-5-20 JSKビル

☎06-6313-1369

http://www.jsk.gr.jp/

問い合わせ先